

プレスリリース

ドイツ・シュツットガルト、2021年2月1日

ケーヒン空調事業の承継について

- 株式会社ケーヒン（現日立Astemo株式会社）の空調事業に関して必要なプロセスを終え、2021年2月1日をもってマーレへの100%株式譲渡は完了。
- 独占禁止法を管轄する各国当局の承認を2021年1月末迄に取得済。
- 事業承継はアジア及び北米の5拠点が対象。
- マーレは戦略的に重要な空調分野におけるグローバル基盤を強化。

マーレは、独占禁止法を管轄する各国当局の承認を取得し、2021年2月1日付にて2020年10月23日に合意した内容に基づき日本、タイ、米国における空調事業の承継を完了しました。これにより生産拠点4カ所及びテクニカルセンター1ヶ所がマーレの拠点となり、マーレの成長戦略である空調事業分野での基盤強化を日本・アジアにおいて進めることが可能となります。

マーレCEOのDr. Joerg Stratmannは「今回の事業継承により、従来のICE車両の分野に加え電動化車両の分野でもアジアと北米の基盤を強化し、よりお客様との関係を深化することが出来ます。この分野での成長はマーレにとって重要です。」とコメントしています。

今回継承する5拠点では、現在、約1700人が勤務し、エアコン（HVAC）及びエアコンの機構部品の開発及び生産を行っています。電動化が進む中でエアコンの効率と性能の向上は不可欠であり、またそれは車両の走行距離と性能に影響を与える重要な製品技術です。

今後、マーレは空調・熱マネジメントの分野でも従来のパワートレイン製品に加え、お客様のニーズに応じていきます。

お問合せ先（報道・メディア）：

広報担当（アジア1）

ジュディアン・ゴ

Tel: 050-3363-0015

E-mail: judy-ann.go@mahle.com

マールについて

1920に設立したマールは未来のモビリティの先駆者であると同時に、自動車業界トップクラスの開発パートナー、そしてサプライヤーとして世界で活動しています。マールグループは、未来のモビリティを変革するために、内燃エンジンの最適化にたゆまぬ努力を傾けながら、代替燃料の利用拡大を推進し、FCVを含むeモビリティの普及に向けた基盤づくりを行なっています。マールグループはパワートレインや空調技術に関する必要不可欠な要素を網羅する製品ラインナップを展開しています。

2019年の売上高は120億ユーロ（1兆4,711億円）に達しました。現在、世界30ヶ国以上、160の生産拠点で77,000人以上が従事しています。（2019年12月31日現在）